

特定非営利活動法人

さわやか北摂つうしん

編集発行:さわやか北摂広報部 川西市緑台 3-3-39 TEL 072-792-3532

悪循環から好循環へ

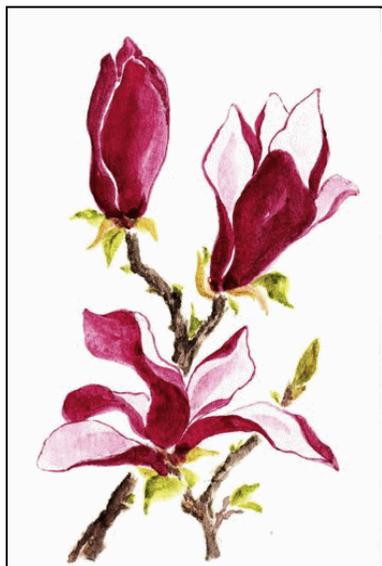
平成27年度から各市町村で始まっている要支援者及び虚弱高齢者を対象とした「介護予防・日常生活支援総合事業」が、この4月から川西市でもいよいよスタートする。厚労省は『総合事業は市町村が中心になって、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能にすることを目指すもの』と謳っている。平たく言えば、住み慣れた我が家に出来るだけ長く住み続けられるよう、介護予防に努めましょう。支援が必要な人には周りの人みんなを支え合っていきましょう。そのための体制を整えて行きましょう。ということかと我々は解釈している。

要支援認定を受けている方には今まで通りのサービスが受けられなくなるのでは？と不安に思っておられる方もおられるだろう。今まで通っていたデイサービスに通えなくなったら、楽しみがなくなって元気が出なくなる。外出の機会が減って、足腰は弱くなるし食欲も減るし・・・毎日が日曜日では認知症になるかも・・・等々。悪循環に陥って気持ちが暗くなる。事業所にとっては、報酬が減ってますます運営は厳しくなり、介護の質を保てなくなるという懸念もある。そうならないために、自治体が率先して眠っている社会資源を掘り起こし、事業所や地域住民とも手を取り合って支援体制を作っていかなければならない。既存のデイサービスだけ

ではなく、少人数での集いの場であったり、困りごとの手助けであったり、元気高齢者を含めみんなで作って行けば普段から顔の見える関係が出来て、いざ災害が起きた時にも自然と助けあえる強い絆が生まれるのではないだろうか。このように地域全体を好循環へと回していきたいものだ。

22年間地域福祉に重点を置いて活動を行ってきたさわやか北摂は、その経験を活かしつつ、より一層地域の方たちとの連携を深めて、地域包括ケアシステムの一部を担える団体となって行かなければならない。

外交や経済発展ばかりに力を入れている現政権下では、財政事情を盾にして今後もジワジワと負担増を強いてくるだろう。形だけを整えて利用者は置き去りという状況にもなりかねない。我々はどんな状況であっても目の前の利用者の方に寄り添い、心を支えていける団体でありたい。 (野村 貴美子)



福武 知子 画

市役所職員が体験研修に来所



稲治さん奮闘中 庭の手入れ

市役所参画協働室が 20～30 代の若手職員を対象に実施している「参画と協働のまちづくり研修」。今年は「市民（市民活動団体）を知る」というテーマで取り組まれ、NPO 法人であるさわやか北摂にも経営改革課の主査、稲治様が体験に来て下さいました。わずか二日間でしたが、たすけあい活動やデイサービス、訪問介護、障がい福祉と全てのサービスを体験していただき、笑顔を絶やさず熱心に取り組んで下さって、我々にとっても NPO 団体を理解して頂く良い企画でした。以下、稲治様のレポートから抜粋させていただきました。

『最も印象的であったのが、助け合いの志の下に人が集まり、公的サービスとして対応できていない細やかな部分に手を差し伸べている「たすけあい活動」を NPO 法人として活動されているということでした。また、ほんの少しの間でしたが、活動者さんと共に作業を行っている中で、困っている人に何か自分が助けになれることがあって、さらに「ありがとう」という言葉をもらえると嬉しいし、とてもやりがいになると活動者さんがおっしゃっていました。このように市民、NPO 法人、行政それぞれの立場と関わり方に違いはありますが、それぞれが主体的に行う人と人とのつながりの形成や支え合いの積み重ねがあってこそ、暮らしは成り立っていること、また、これらの活動を展開している方たちの志の力強さを、この体験を通じて実感することができました。』

<ヘルパー定例研修会>

☆ 障がい者差別解消法についての勉強会 ☆ 29. 1. 17

平成 28 年に施行された障がい者差別解消法について勉強会を開催しました。

事務所スタッフが寸劇をし、レストランで車椅子の方をお断りする場面や、駅のホームでのやりとりなど、実際にあった事例について、違法になるかどうかを皆で考えて行きました。



NPO 法人さわやか北摂は多くの人々のご協力に支えられています

さいとう眼科医院

斎藤 喜博

栄根 072-756-0300

たぐちクリニック・泌尿器科

田口 恵三

見野 072-791-5775

せいしん心療内科医院

石島 正嗣

中央町 072-757-4511

中村内科・小児科医院

中村 修

向陽台 072-793-8002

あかり

活動力を集め 健康福祉社会の灯

過去に学び 明日を考える

特定非営利活動法人 さわやか北摂
執行理事 久恒 千里



デイサービスに来られる高齢の婦人から、主には戦時中の話を我々に聞いて貰いたい、と話されることがある。赤紙で男子は戦地へ。青紙で女子は挺身隊として勤労奉仕の工場で働いた。又、越前水仙の花を慰問用に両手一杯抱えて売りに行った話等々。二度とあってはならない戦争の記憶を私達は畏敬の念を持って心に深くたたみ乍ら聞く。過去に学び明日を考える為に、知恵と心と耳を磨きたい。

デイサービスの任務の一つはお年寄りにワクワクした生活を送っていた

だく事。フィギュアスケート益々高齢化していく世の中の羽生選手達の言葉で「相手の喜びは自分もワクワクしている」とよも言われる。元気で素晴らしい響きに聞こえるので、私達も見習いたいと常々考えている。そして人は皆、食へることは生きぬくことそのものだと思つてるので、無農薬有機栽培にこだわった食事作りにも精を出している。

NPOの市民活動を立ち上げて22年。福祉をとりまく状況は日々厳しくなり、不届なく引いていかざるを得ない団体が増え、NPOといえども一定の責任を持つて地域づくりに参加しているし、助けあい活動では、市民・高齢者の生きがい作りにも役立つている。しかし

減方向に強く進んでおり、全体の切り下げで、国は削れない人々が街中に広がって行くであろう。手を差伸べたくても、人、場所、カネの問題は、小さなNPOで抱えきれぬものではない。ボランティアばかりである。市民・行政が一体となつても尚厳しい事である。

日本は、世界の先進国の中で最貧国とメディアは伝えている。一般の国民感情からすれば、国家予算の使い方に違和感を感じずにはいられない。日本の繁栄を支えてきた先

輩の方たちをどんどん切り捨てないで！と叫びたいし、ともあれ、私達はNPOとしてこれからも社会貢献活動にも精を出し、あたたかい活動を進めていきたいとひたすら願っている。

健康福祉情報新聞

NPO 日本いきいきらいふ協会
ひとりひとりがあわせに
生かれる そんな社会づくりへ
大きな 輪に広げよう
NTIL
大阪市北区豊崎5-8-2-405
TEL06-6371-2226 FAX06-6371-9466

 **各種ご支援に 感謝申し上げます**

佐野隆二郎様 池内節子様 馬淵英男様
二森光雄様 岡崎信一様 山内蓮子様
藤原 昌様 岡田八郎様 上殿武彦様
中嶋賢治様 樋口安子様 梶原幸一様
竹内和子様 毛呂貞夫様

さわやか北摂は多くの人々のご協力に
支えられています

おおたに 歯科医院
應谷 茂
湯山台 072-792-1627

元木クリニック
元木 祥博
東畦野 072-795-0066

居場所・あれこれ



ハンドベル・チェリースの演奏会
やさしい音色のハンドベルの演奏は、さわやかデイでは初めてだったので、皆さんはうっとりしながら聴きほれました



小笠原流煎茶道の初煎会
岡田理事ご夫妻による例年のお茶会を開いて下さいました 気分一新！
“おいしいねえ しゃきっとするわ”



ギターとマンドリン演奏会
長い演奏活動を続けておられるアンサンブル コパンの皆さんによるギターとマンドリンのコンサート さすがに素晴らしいハーモニーでした



落語を一席！
五月家五角さんの落語 “子ほめ”
熊公とご隠居さんとのやりとりに、お腹をかかえて笑いころげました

NPO 法人さわやか北摂は多くの人々のご協力に支えられています

西岡内科・小児科医院

西岡 浩嗣

水明台 072-793-7705

堀池 歯科医院

堀池 周司

加茂 072-757-1118

さくらホームケアクリニック

久保 雅弘

平野 072-793-4000

ふかみレディースクリニック

深見 和之・栄

栄町 072-740-0230

ふじい 歯科医院

藤井 克則

平野 072-790-1101

藤末 医院

藤末 洋

小花 072-759-2952

三木 外科胃腸科

三木 篤志

加茂 072-758-5752

花岡 緋芙美様

さわやか設立時から駐車場を無料で提供して下さい心から感謝申し上げます

デイサービスの記録



市役所職員の現地研修
運動会週間で毎日一緒に綱引きや玉入れ
など 頑張りました エイ エイ オー!



デイの初日（29年1月4日）
今年もよろしくお願いま〜す
皆様のご健康を祝して甘酒で乾杯しました
イヨオー！ 1本締めでいきましょう



詩吟発表会
居場所で毎月練習している詩吟のグ
ループさんの、初めての発表会 田村
先生のお声が響き渡りました



天狗さんとお面作り
能勢の藤江天狗さんがお面作りに来て下さ
いました 素敵なお面ができて上がりました



今年の秋の行楽は国の天然
記念物になっている、野間
の大けやき見物にいきました
た 大きいなあ!



大きな大根よ〜
なんと2.2kg ありました
無農薬野菜を頂き、皆さん大
よろこびでリレーしました



ふわふわ毛糸の可愛いひよこがで
きました 新年を一緒に元気に過
ごしています

素敵な笑顔がモットーのさわやかさ
ん。皆様の笑顔に貢献できるよう頑
張ります。宜しくお願い致します。



河邊 裕子
(サービス提供
責任者)

✿ 新スタッフ紹介 ✿

「人を大切にする」が第一

スタッフを含め「人を大切にする」ということを第一に考えて、今までやってきました。その思いは今、周囲の人たちに理解され、引き継がれていると思います。

事業内容は年々増え、ボランティアな活動を始めてから20年以上たった今では、介護サービスなど6種類の事業を常勤職員や活動会員の約110人で行っています。そのうちのひとつ、デイサービスを利用する皆さんは、施設へ来ると一日中笑い声が絶えず、来たときより元気になって帰っていくられるのですよ。

事業の継続に必要な活動資金

私たちの活動の原点にあるのが「助けあい活動」です。多くの協力会員に

若いころからボランティア活動に取り組み、平成12年にNPO法人「さわやか北摂」を設立。市内に拠点を置くNPO法人の第1号となる。高齢者と障がい者が笑顔で暮らせる地域社会を築きたいとの信念をもって運営に当たり、今年、次世代へバトンを渡した。

初代代表理事 久恒千里さん

NPO法人さわやか北摂

次世代のメンバーが共感、理念を引き継ぐ

20年以上活動を続け、市内NPO法人の先駆けに

登録してもらっていて、買物代行や駅までの同行、草引きなど、きめ細やかなサービスを行っています。謝礼の8割は、それぞれ協力者の活動費になりますので、事務費を考えると、この事業はいつも赤字です。でも、利用者の皆さんに喜んでもらいたいと言う思いで続けています。今では、活動者も利用者も、お互いが楽しく元気になれる事業に成長したと喜んでいきます。

ただ、団体としての運営を考えると、やはり活動資金は大切です。そこで、必要な収入を介護報酬として得られる介護サービス事業にも取り組んでいます。こちらは法的な条件や決まりがあり、利用者の希望に添えないこともありますが、その隙間を助け合い活動で補っています。そして、このような活動を

知ってもらおうことや、情報発信も兼ねて、会報誌「さわやか北摂つうしん」を年3回発行しています。それを見た人が、自分も手伝えたいと申し出てくださることもあるんですよ。活動を知った人が、いろいろなアドバイスをして下さることもあり、徐々にですが、たくさんの応援団に恵まれました。

次ぎの世代への引き継ぎを決意

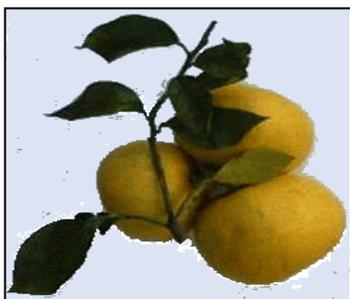
自分の年も考え、数年前から次ぎの世代へ引き継ぎたいと願っています。ケアマネージャー（介護支援専門員）として10年以上前から賛同してくれている野村さんが引受けてくれる※



※ことになり、うれしかったです。
 NPO 法人の活動では、県などへの報告書の作成など事務量もかなり多いので、事務局の皆さんとの共同作業です。たくさんの担い手があつてこそ続けられること。これからも皆さんに喜んでいただける活動を続けたいと思っています。



27 年度市民実感調査では、約 40%の人が「きっかけがあれば、ボランティアやNPO などの活動に参加してみたい」と回答。一方、実際に参加している人の割合は約 12%という結果に。(広報かわにしより) NPO としては、「困った時はお互いさま」と手をつないでいく為、多くの方のご参加をお待ちしています。



三つ子のザボン

今年はふたごや三つ子もできました 直径 15センチ、3つで 2.5 キロもありました 久恒家の庭から



東京から素敵な盛花のクリスマスプレゼントが届きました 色とりどりの見たことの無い立派な花々に長い間楽しませて頂きました



新春の松竹梅

居場所ご利用のフリー刺繍のグループ代表の川口千香子様制作の力作タペストリー

手作り品応援団

熊田孝子さん



- ◆今迄毛糸ソックスを 1000 足!
- ◆巾着袋やレッグウォーマー等
チャリティーバザーの
定番の作品です 多謝!!

◆さわやか訪問マッサージ〈自費〉◆

- ★ プロの有資格者が手技による
マッサージを致します
- ★ ご自宅や、施設まで訪問します
- ★ ご自宅以外で希望の方には送迎もしています

〈お問い合わせ〉

NPO 法人 さわやか北摂事務所
 ☎ 072-792-3532



活動実績

	たすけあい活動 (件)	訪問介護 (件)	障がい者支援 (件)	水明台デイ (延べ人数)
H28. 9月	1,103	1,043	483	399
10月	1,143	1,096	447	387
11月	1,124	1,116	457	381
12月	1,195	1,176	487	368



日本財団から福祉車両が届きます ＜車椅子対応の軽自動車 ホンダ N-BOX 十＞

さわやか北摂設立後 22 年を迎えますが、日本財団からこの間 4 台の福祉車両の寄贈を受けました。設立後 8 カ月で最初のホンダアクティ軽リフトカーを頂き、21 年間荷物運びなど、現在も活躍しています。その後トヨタファンカーゴも大活躍してくれましたが、12 万キロの走行に耐えきれずダウン。この度ホンダ N-BOX の寄贈を受けてタッチ交替することになりました。助けあい活動の基本としてスタートし、今後も介護者のお役に立てるよう努力致します。



ご寄贈に心から感謝申し上げます。

熊本支援金のご報告と今後について No 3

昨年 4 月の熊本大震災の後、私達 NPO の取り組みとして現地へ行かれる人々の支援策を考えました。5 月から 12 月迄 10 万円ずつ 5 回、50 万円を日本財団を通じて熊本へお送りしました。今年 1 月からは「災害復興支援特別基金」が日本財団で立ち上がりました。私達は NPO の社会貢献の一環として引き続き支援金を集めています。小物寄贈品や手作り品など居場所に並べ、チャリティーバザーを行っています。いつ起こるか分からない災害は他人ごとではありません。今後共ご支援の程よろしくお願い申し上げます。(久恒 記)

さわやか北摂のホームページ (URL)

<http://sawayakasan.sakura.ne.jp/>

ブログもご覧下さい (随時更新)

募集!

- ★ デイサービス・ドライバー
8:30 ~ 9:30
16:30 ~ 17:30
有償 週 1 回から可
- ★ 男女訪問ヘルパー
週 1 回、1 時間から可
- ★ たすけあい活動者 男女
有償 週 1 回、1 時間から可
- ★ デイサービス・調理員
午前中、週 1 ~ 2 回から可